

## 五味昇陽さん

### － 目指せ、スポーツ留学と通訳 －

在学中に通訳の経験があり、来年からはケルン体育大学でスポーツを学びながらスポーツ通訳を目指すという Prost!編集委員の五味さんに、ご自身の経験やこれからの目標について、お話を聞きました。

――獨協大学ドイツ語学科を選んだ理由を教えてください。

サッカー部に所属していて11月まで部活があったので、指定校推薦で学校を探していました。語学には前々から興味があったので、「英語を勉強しよう」と思いました。それで英語学科を探していたんですが、推薦の条件である英検を取ることができない環境だったので、フランス語学科かドイツ語学科という選択肢が残りました。そこからは単純な理由なんですけど、サッカーといえばドイツ、というイメージでドイツ語学科を選びました。だから、もともとはドイツ語を勉強するつもりはなくて、英語を勉強するつもりでした。

――大学生活で学んだことを教えてください。

大学生活で学んだことは、「良くも悪くも、4年間で差がついてしまう」ということです。高校生に比べて自由な時間が多いから、やる人とやらない人の差が顕著に表れる。毎日突き詰めてやっている人たちは、すごく伸びたな、という印象を受けるし、逆に、あまりやってこなかった人たちはそれなり、というような。自由な時間をどうマネジメントしていくかが大事なんだなと学びました。「いつまでにどんな資格が必要だから、そのために、今はこれを勉強しよう」というように、計画性をもってやるのが大事だと思います。

――サッカー関連のイベントで通訳をされたそうですが、どんなイベントだったのですか？

ドルトムントでゴールキーパーとして活躍したヴァイデンフェラー選手の、日本のファンに向けたイベントでした。メインイベントの質疑応答では、ファンの質問を選手に伝え、その回答をファンに伝えました。大変だったのは、打ち合わせがなかったことです。たいてい通訳の仕事は、どういうことを喋るか、事前に打ち合わせするんですが、そういうのがなくて。僕は打ち合わせがあると思って一番に会場入りしたのですが、徐々に人が集まってくる中、その選手は来なくて。何時に来るのかを聞いたら、「開始時刻に来ます」と言われて、ステージの上で初対面でした(笑)ある程度内容は予想していたのですが、基本的にはその場で通訳という感じでした。

――通訳の仕事で、やりがいを感じたこと、嬉しかったことはありますか。

通訳は、言葉を知らずに来る人を相手にするから、選手も助けることもできるし、聞いてくれる多く

の人たちを助けることもできる、というのはやりがいだと思います。その人がいなければ成り立たないイベントだから、ものすごく、自分に価値が生まれる瞬間でもありますね。嬉しかったことは、一つ挙げるとしたら、イベントの写真をネットで見たときに、選手の隣に自分が（写って）いた、ということですね。



——ケルン体育大学への入学を決めたのはいつですか？また、きっかけはありますか？

ドイツ語学科に合格した時です。僕の地元のサッカーチーム、浦和レッズの監督が旧ユーゴスラビア出身でドイツ語話者でした。その通訳を担当していた方がケルン体育大学出身ということを知り、入学を決めました。ケルン体育大学の入学試験は2月に終わったばかりです。無事合格できました。

——入学試験はどのようなものだったのでしょうか？

試験は朝6時半から12時間かけて夜6時半まであってかなりハードでした。陸上、水泳、体操、チームスポーツ、ラケットスポーツ、持久走、全部で16種目やらなきゃいけない。一つしか落とせないの、緊張感が半端なかったです。実は僕、水泳が苦手です…25mすら泳げなくて、2018年の4月から練習を始めました。周りがみんなスーツ着て就活してる時に僕は水着で、人生をかけてスイミングスクールに通ってました。

——これからの自分の未来をどういう風に描いていますか？

今後も通訳になりたいという夢は変わらないですね。やるならサッカーのトップリーグでやりたいです。僕の進路選択のきっかけになった通訳の方は在学中から通訳の仕事をしていました。僕も声がかかり次第通訳をやりたいし、もし通訳のお仕事がなかったら体育大学の卒業を目指したいです。今のところ、3月末にドイツへ日本のサッカーチームが一週間来るので、その時にアルバイトとして通訳をする予定です。

——大学生のうちにやってよかった！と思うことはありますか？

やっぱりいろんな人と出会っていろんな人と話をしたことです。これって一見、何の価値も生み出さないことだと思われがちですが、最終的には自分の財産になると思います。それにはもちろん時間とお金がかかります。でも、それをやっていたおかげで今僕は人脈という財産を持っています。もちろんその日は一円の価値も生み出さないし、それどころか赤字になりますが、それを面倒くさがらない方が良いと思います。もしそれが、僕が通訳の仕事に出会えたように仕事に繋がればとっても嬉しいけど、そうじゃなくても困ったときに助けてくれる人が見つかる、新しい価値観に出会えるという素晴らしい経験になると思います。

——新入生へのメッセージをお願いします。

色々な街に行ったり、たくさんの人とお話してほしいかな。色々なことをするには、お金が必要だからアルバイトもすると思うんですが、勉強もバイトも旅行も無駄にしないでほしい。僕も部活がほぼ毎

日あつての授業は正直きつかったです。疲れて授業をぼーっと受けてしまう時もありました。僕がぼーっとしている 90 分のために親が働いていることや、全てに意味があることに気付いたのは短期留学に行ってからです。語学学校に通うために目に見える形でお金を払った経験で初めて意識しました。その時から、授業が受けなきゃいけないものから受けさせてもらっているものという意識に変わりました。大学は、四年間、自由な時間をお金で買っているという見方もできると思います。だから、何よりもまず毎日を大切にしてほしい。あとは、僕が後悔したことでもありますが、新聞を読んだり、ニュースを見たりした方が良いかな。いろんな人と話すときに社会のことや経済のことを知っていた方が話も盛り上がるしいろんなことが見えてくる。僕は 4 年の 10 月から読み始めたのですが、ものを知ることは楽しいし、もっとやっておけばよかったです。

★五味さん、貴重なお話をありがとうございました！五味さんのさらなるご活躍を期待しています！

(インタビュアー：木山茜、小林萌香)

#### こっそりドイツ語を始めよう！（４）

- |                     |                                                  |
|---------------------|--------------------------------------------------|
| ○ Gut! いいね！<br>グート  | ○ Super! すごい！<br>スーパー                            |
| ○ Cool! スゴイ！<br>クール | ○ Gut gemacht! よくやったね！<br>グート ゲマハト (= Good job!) |

